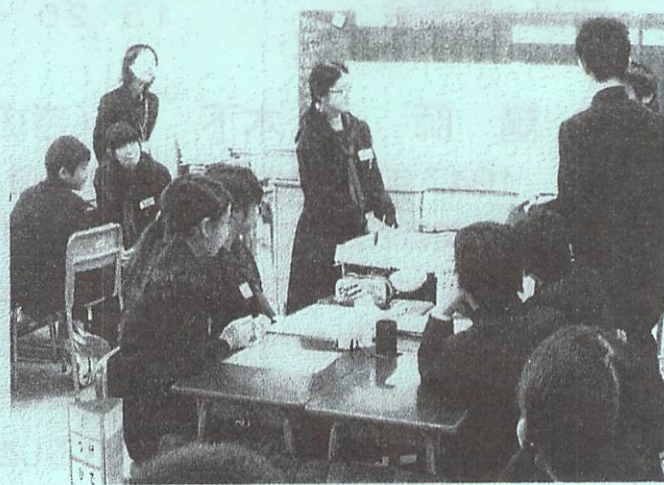
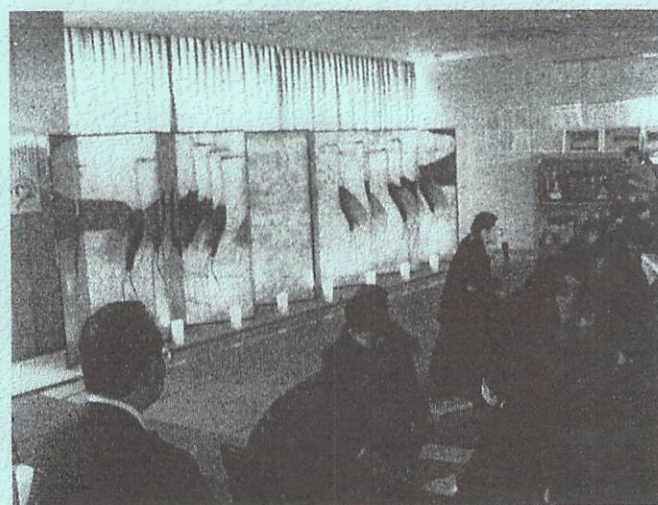
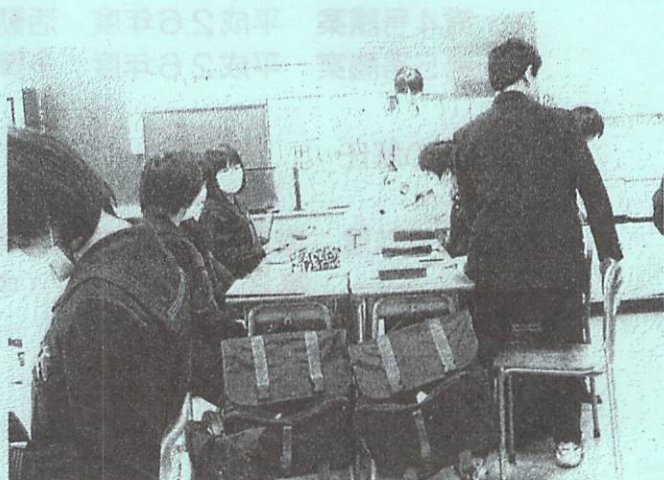
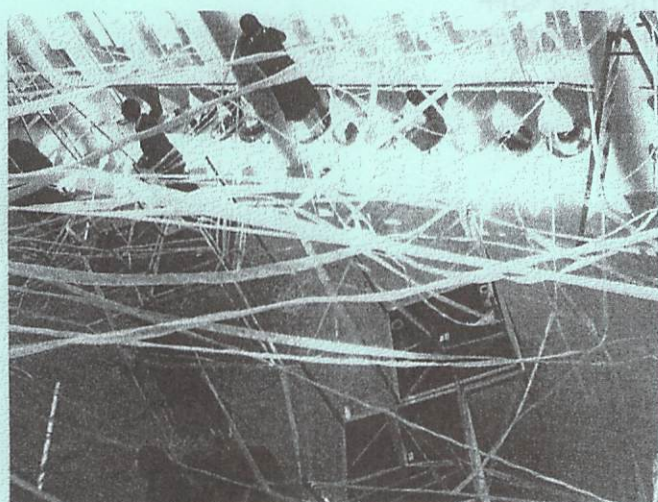


平成26年度
東京都中学校美術教育研究会
総会議案書



平成26年5月23日(金)

14時20分～16時40分

東京芸術劇場 大会議室

総会式次第

■開会の言葉

■会長挨拶

■議長団選出

- ・第1号議案 平成25年度 活動報告に関する件
- ・第2号議案 平成25年度 決算報告に関する件
- ・第3号議案 平成26年度 役員選出に関する件
- ・第4号議案 平成26年度 活動方針に関する件
- ・第5号議案 平成26年度 予算に関する件

■議長団の解任

- 平成26年度 東京都中学校美術教育研究会
第3ブロック大会（中野区・練馬区・杉並区）に関して

■閉会の言葉

研修・講演会

15:20 ~ 16:10

講師 木下 晋（きのした すすむ） 氏

1947年富山県生まれ。16歳の時、クレヨンを油彩代わりに使用して描いた作品が自由美術協会展で初入選を果たす。1981年頃から鉛筆画を制作し始める。10Hから10Bまでの22段階の鉛筆を駆使し、「最後の瞽女（ごぜ）」といわれた小林ハル、元ハンセン病患者の詩人・桜井哲夫など、過酷な運命を生きた人々を緻密な線描で表現し、人間の生のただならぬ重みを深く問いかける。

- 1984 平和美術展（ひろしま美術館・広島）
- 2009 アートワークス展（金沢21世紀美術館・石川）
- 2010 瀬戸内国際芸術祭2010（豊島・香川）
- その他、個展・グループ展多数
- 2006 名古屋芸術大学特別客員教授
- 2009 金沢美術工芸大学大学院博士課程専任教授

目 次

会則	(1)
平成25年度 東京都中学校美術教育研究会 活動報告	(2)
平成25年度 決算報告	(3)
平成26年度 東京都中学校美術教育研究会 組織・組織図	(4~5)
平成26年度 東京都中学校美術教育研究会 活動方針(案)	(6)
平成26年度 年間活動計画(案)	(7)
平成26年度 収支予算(案)	(8)
東京都中学校美術教育研究大会の運営について	(9)
都中美 研究ブロック区分	(10)
都中美大会 一覧表	(11)

東京都中学校美術教育研究会 会則

- 第 1 条 本会は東京都中学校美術教育研究会といい、事務局を事務局長在任校に置く。
- 第 2 条 本会は東京都中学校美術教育研究会の研究並びに会員相互の親睦を図ることを目的とする。
- 第 3 条 本会は東京都中学校各地区美術教育研究部を母体とし、中学校美術教育に関係ある教職員を会員として構成する。
- 第 4 条 本会員は役員会を運営の中核とし、第2条の目的を達するための専門部を置き、次の事業を行う。その他必要に応じた特別委員会を置くことができる。

[専門部]

- (1) 教科研究部
- (2) 広報部（書記を兼ねる）
- (3) 行事部

[事業]

- (1) 美術教育に関する調査研究ならびにその発表
- (2) 協議会、講習会、展覧会、視察、見学、研究事業
- (3) 意見の公表ならびに建議
- (4) 会員相互の親睦
- (5) その他本会の目的達成に必要な事業

- 第 5 条 本会は次の役員をおく。
- ・会長 1 名
 - ・副会長 必要数
 - ・事務局長 1 名
 - ・会計 2 名
 - ・専門部に担当副会長をおく
 - ・専門部長 各 1 名
 - ・専門部副部長 各若干名
- 第 6 条 各区市町村で選出された部長は、都中美本部との連絡・調整にあたる。
- 第 7 条 本会は役員会の推薦により顧問をおくことができる。
- 第 8 条 本会に監査 2 名をおく。
- 第 9 条 本会は年 1 回年度当初に総会を開く。なお必要あるときは臨時総会を開くことができる。
- 第 10 条 本会は運営を円滑に行うため、必要に応じて次の会議を開く。
- (1) 役員会
 - (2) 各専門部会
 - (3) 地区部長会
- 第 11 条 本会は、東京都中学校教育研究会よりの会費で運営される。
- 第 12 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌 3 月 31 日で終わる。
- 第 13 条 本会の毎年度予算、決算は総会の決議を経るものとする。
- 附 則
- (1) 本会の会則は総会の決議を経なければ変更することはできない。
 - (2) 本会会則は昭和 22 年 11 月 3 日から実施する。

平成 20 年 5 月 23 日 改正

平成 23 年 5 月 26 日 一部改正

平成25年度 東京都中学校美術教育研究会活動報告

月 日	活 動 内 容	(開催地)
5月 2日	都中美 事務局・25年度総会準備・打合せ	(墨田・両国中)
5月20日	第31回都中美2ブロック大会実行委員会	(墨田・両国中)
5月21日	総会・研修会 24年度活動報告・決算報告、25年度活動方針・組織・予算計画 研修会 講演 「新しい芸術表現と美術教育」 講師 折元立身 氏	(東京芸術劇場)
6月11日	第31回都中美2ブロック大会・研究授業担当者会議	(墨田・両国中)
6月19日	東京都造形教育協議会理事会 25年度活動、校種間連携 担当理事・役員参加	(墨田・両国中)
6月29日	関東甲信越静地区都県代表者会議・近隣県との情報交換	(墨田・両国中)
7月25日	全造連東京大会・校種別会議 第31回都中美2ブロック大会実行委員会・局部会	(墨田・両国中)
8月1日 ～2日	都中美夏季研修会 研修テーマ(仮題)・・・「授業の質の向上と美術教育の価値を伝える」 ○中学校美術ネット 「中学校美術 Q&A in 東京」研修会参加による授業力向上研修	(墨田・両国中)
9月18日	全造連東京大会・校種別会議(含2ブロック大会準備会議)	(墨田・両国中)
11月11日	全造連東京大会・校種別会議 第31回都中美2ブロック大会準備委員会	(墨田・両国中)
11月12日	第31回都中美2ブロック大会・事前準備委員会	(墨田・両国中)
11月14～ 15日	第53回 関東甲信越静地区造形教育研究大会 茨城大会(水戸) 大会テーマ 人づくり しあわせづくり ゆめづくり	水戸京成ホテル 茨城県近代美術館 水戸市立第二中学校
11月22日	第31回都中美2ブロック大会・直前準備委員会	(墨田・両国中)
11月29日	第31回東京都中学校美術教育研究会第2ブロック大会 研究テーマ「造形美術教育のダイナミズム」～成長と連携～ 記念講演・講師 文部科学省教育課程課教科調査官 東良雅人氏	(墨田・両国中)
12月26日	都中美報告書作成会・2ブロック実行委員会 全造連東京大会・校種別会議(研究部会・編集部会)	(墨田・両国中)
1月20日	第31回都中美2ブロック大会実行委員会	(墨田・両国中)
2月9日 ～14日	公立学校美術展(都展) 8日搬入 9～14日会期 14日午後搬出・片付け	(東京都美術館)
2月27日	第31回都中美2ブロック大会編集局会議 報告書発送	(墨田・両国中)
3月27日	東京都造形教育協議会・校種別打ち合わせ会	(墨田・両国中)
3月28日	都中美 事務局・専門部部長研修会 教科研修部会 26年度活動方針・組織の検討	(中野・第二中)
3月 26日	会長・副会長会(26年度の計画確認) 都中美副会長・役員会	(中野・第二中)

平成25年度 収支決算報告

科 目	予 算 額(円)	収 入 額 (円)			備 考
		収入済額	収入未済額	計	
会 費	808,000	775,000	0	775,000	都教育研究会より分担金
補 助 金	0	0	0	0	
寄 付 金	0	0	0	0	
雑 収 入	0	0	0	0	
前年度繰越金	1,460	1,460	0	1,460	
その他繰金	0	0	0	0	
合 計	809,460	776,460	0	776,460	33000円予算額より減額

支 出 の 部

科 目 (経費の区分)	予 算 額(円)	支 出 額 (円)			備 考		
		支出済額	支出未済額	計			
補助事業に要する経費	研究大会及び研修会	諸 謝 金	50,000	40,000	0	40,000	研究会講師謝礼
		旅 費	0	0	0	0	
		借 料・損 料	19,000	22,200	0	22,200	
		印 刷 製 本 費	300,000	300,000	0	300,000	2ブロック大会費
		会 議 費	6,000	5,000	0	5,000	研修会会場借用費
		消 耗 品 費	130,000	125,219	0	125,219	事務用封筒等
		通 信 運 搬 費	16,000	14,500	0	14,500	資料発送費
	小 計	521,000	506,919	0	506,919		
	研究調査	諸 謝 金	0	0	0	0	
		旅 費	50,000	50,000	0	50,000	関プロ参加費補助
		資 料 費	20,000	18,000	0	18,000	研究大会資料費補助
		印 刷 製 本 費	0	0	0	0	
		賃 金	0	0	0	0	
		会 議 費	5,000	5,000	0	5,000	都教育研究会参加費
消 耗 品 費		12,000	7,120	0	7,120	事務用印刷紙・ラベル等	
通 信 運 搬 費	5,000	5,000	0	5,000	H P 接続料		
小 計	92,000	85,120	0	85,120			
図書	図 書 購 入 費	0	0	0	0		
	小 計	0	0	0	0		
	研 究 行 成 果 刊 行	印 刷 製 本 費	0	0	0	0	
	通 信 運 搬 費	10,000	10,000	0	10,000	刊行物運搬費	
小 計	10,000	10,000	0	10,000			
計	623,000	602,039	0	602,039			
その他事業費・事務局費	186,460	169,892	0	169,892	団体加盟費・名簿作成費等		
合 計	809,460	771,931	0	771,931			

都教育研究会からの分担金が予算額より、33000円減額されたため、収入合計が776460円となり

776460円(予算額) - 771931円(執行額) = 4529円(残金)

翌年度繰越金 4,529 円

東京都中学校美術教育研究会

会長 殿 村 靖
 会計 前 田 正
 太 田 幸



監査の結果、正確に執行されていることを認めます。

東京都中学校美術教育研究会

会計監査 古 田 博
 会計監査 林 博 憲



平成26年度 東京都中学校美術教育研究会組織(案)

東京都中学校美術教育研究会					
副会長	会長	殿村 靖廣 葛飾・大道中			
	関連団体担当	全造連	永関 和雄 町田・教育委員会		
		全中美術	須藤 昭人 白野・第四中		
		関ノ口	牧井 直文 中野・線野中		
	事務局担当	中文連	曾根 信行 東大和・第一中		
		事務局長	香村 智 八王子・中山中		
		研修A	中村 一哉 府中・第五中		
		研修A	大野 雅生 西東京・田無四中		
		研修A	曾根 信行 東大和・第一中		
		研修A	山下 久也 八王子・四谷中		
		研究B大会	池田 浩二 中野・第二中		
		研究B	平内 利光 大田・馬込東中		
		研究B	菊田 寛 葛飾・井草中		
	研究B	大野 雅人 杉並・井草中			
広報部担当	薮谷佳世子 足立・竹ノ塚中				
公美展担当	正留 久巳 白野・三沢中				
名簿作成担当	川崎 達也 東村山・第七中				
	曾根 信行 東大和・第一中				
	古田 博巳 奥多摩・古里中				
会計監査担当	半田 道夫 東大和・第五中				
	菊田 寛 葛飾・井草中				
担当委員	局長	伊藤 範彦 大田・出雲中			
	事務局	副局長・副	上野自浩一 大田・南六郷中		
		副局長	市場陽一郎 八王子・横山中		
		局長	宮越 一昭 杉並・東原中		
	教科研究部	局長	福島 淳子 町田・金井中		
			河田あすか 白野・第三中		
		副局長・副	矢野 芳幸 江戸・小岩一中		
			山下 久也 八王子・四谷中		
		部員	部長	長尾 菊絵 西東京・ひばりが丘	
			副部長・副	中村伊佐夫 町田・小山中	
				増田 裕子 板橋・第五中	
			部員	副部長	江川 誠志 練馬・豊玉中
				松尾 葉恵 西東京・田無一中	
				高崎美也子 中野・中野中	
深見 響子 江東・深川第四中					
倉科 幸雄 世・上祖師谷中					
猪口 正和 豊島・西池袋中					
安島 典子 杉並・井草中					
中村みどり 狛江・狛江四中					
石井康美子 武蔵野・第五中					
膳井奈津子 文京・第三中					
松尾 英治 武蔵野・第六中					
坂東由香里 大田・貝塚中					
島山 真理子 足立・第十四中					
平岡 紀子 八王子・桐田中					
川原 寛之 足立・第一中					
内田 善人 清瀬・第四中					
奥井 伸 中野・南中野中					
福田 龍郎 葛飾・大田中					
大村 志保子 葛飾・大道中					
山崎 由佳 葛飾・小松中					
志手 伸佳 足立・洲江中					
部長	石黒 晋 世田谷・尾山台中				
行事部	部長	猪口 正和 杉並・井草中			
	副部長	倉科 幸雄 豊島・西池袋中			
会計	部長	前田 正恵 葛飾・大田中			
	副部長	大村 志保子 葛飾・大道中			

全国造形教育連盟(全造連)		
委員長 都代表	永関 和雄	町田・教育委員会
	殿村 靖廣	葛飾・大道中
	大野 雅人	杉並・井草中
事務局	上野自浩一	大田・南六郷中
	佐藤真理子	大田・南六郷中

東京都造形教育協議会(都造協)		
理事	殿村 靖廣	葛飾・大道中
	菊田 寛	葛飾・両国中
	香村 智	八王子・中山中
	川崎 達也	東村山・第七中
委員	伊藤 範彦	葛飾・井草中
	薮谷佳世子	足立・竹ノ塚中

全国中学校美術教育連盟(全中美術)		
理事	須藤 昭人	白野・第四中
事務局	川崎 達也	東村山・第七中
	薮谷佳世子	足立・竹ノ塚中

関東甲信越静地区造形教育連合(関ノ口)		
理事長	牧井 直文	中野・線野中
事務局長	河田あすか	白野・第三中
委員	殿村 靖廣	葛飾・飾・大道中
	菊田 寛	葛飾・両国中
	大野 雅生	西東京・田無第四中
	薮谷佳世子	足立・竹ノ塚中
事務局員	上野自浩一	大田・南六郷中
	伊藤 範彦	葛飾・井草中
	佐藤真理子	大田・南六郷中
	吉田 諭司	中野・線野中
志手 伸佳	足立・洲江中	

公立学校美術展		
運営委員	川崎 達也	東村山・第七中
委員	千頭和正巳	東村山・第六中
	伊藤 範彦	葛飾・文花中(夜間)
	大出 和広	杉並・天沼中
	高野 朱未	練馬・関渡第三中

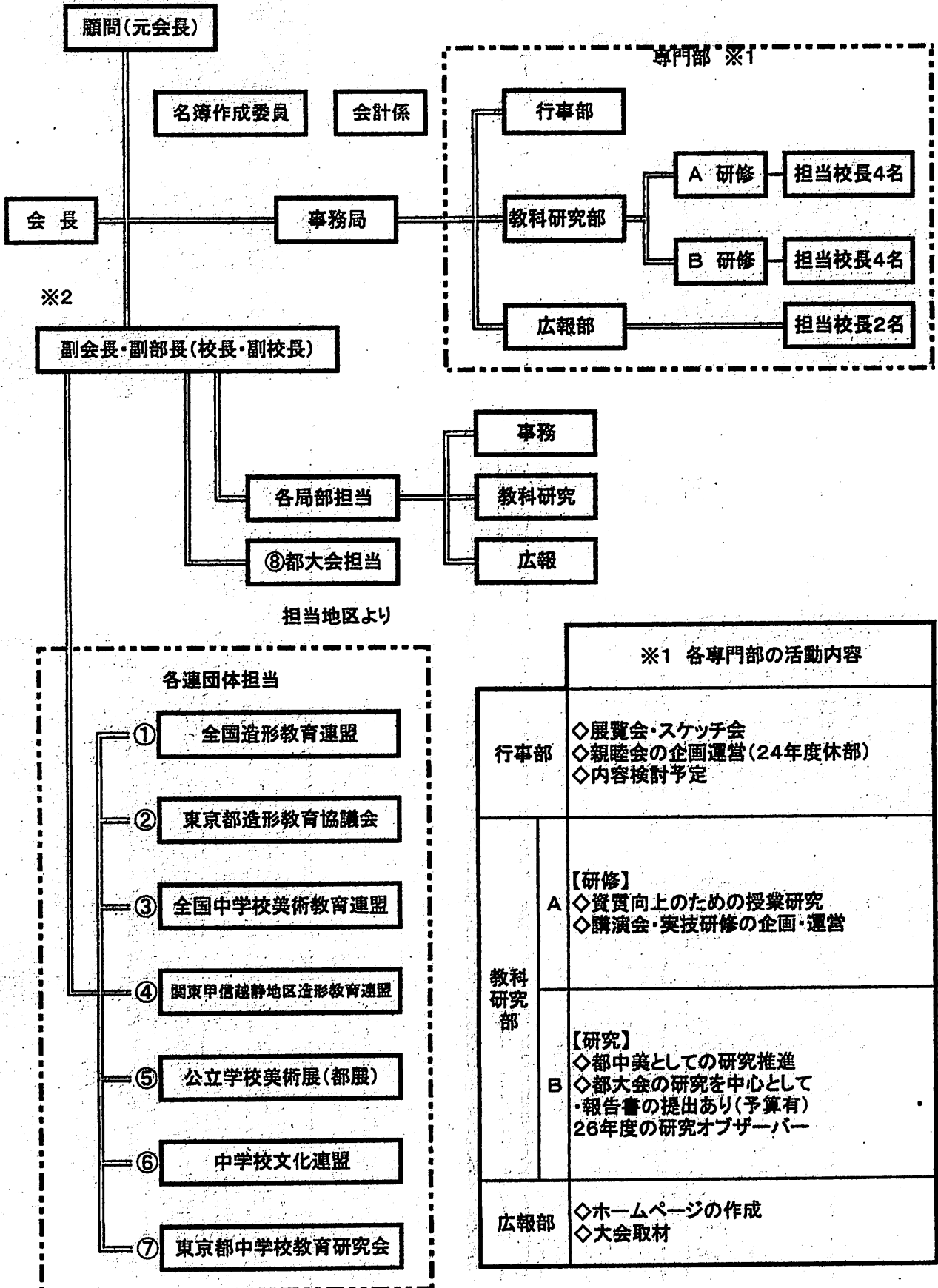
中学校文化連盟委員(中文連)運営委員		
評議委員	曾根 信行	東大和・第一中
会員	松村 正博	東大和・第三中
	高崎美也子	江東・深川第四中

東京都中学校教育研究会(都中教研)運営委員		
常任理事	殿村 靖廣	葛飾・大道中
	曾根 信行	東大和・第一中
	香村 智	八王子・中山中

26年度 都中美の組織構成及び各部の活動内容

※25年度と組織変更なし

組織構成と分担内容



平成26年度 活動方針（案）

【活動内容】

- ・異校種間の連続や連携を意識した授業の構築・・・発達段階における造形美術教育
- ・学習指導要領の目標を踏まえた授業の工夫
- ・都中美会員の連携強化のための情報提供と授業実践の紹介

昨年度、「造形美術教育のダイナミズム～成長と連携」をテーマに、全国造形教育研究大会東京大会が墨田区立両国中学校で開催され、東京都中学校美術教育研究会は2ブロック都中美兼大会として合同開催いたしました。大会では、幼稚園・小学校・中学校・高校・大学・特別支援・美術館等の異校種間との連携を図り、「指導の連続性」に視点を当てた研究が進められました。研究の結果、子供たちが成長とともに変容していく過程において、異校種間の連携を継続し発展させていくことは、造形美術教育にとって子供たちの発想・構想の能力の高まりにつながっていくと確認できました。

現在、題材について指導方法の見直しや内容のさらなる充実が求められている中、各地区で学校規模の縮小、非常勤講師・若手教員の学校の増加等、の多くの課題が山積しています。

本研究会では、これからの美術教育のあり方を考え、学習指導要領に基づく授業を広く実践するとともに、若手教員育成の面からも異校種間の授業交流の推進を図っていくことが重要であると考えています。今年度は、昨年度の取り組みを継続・発展させるとともに、これからの造形美術教育を考え、ベテランや若手の美術教員が一丸となって美術教育に邁進できるように、さらなる活動の活性化を図りたいと考えます。

【異校種間の連続や連携を意識した授業の構築について】

本年度、3ブロック大会（中野区・練馬区・杉並区）が11月に中野区で開催されます。すでに、テーマとして「つながり、広がり、翔たく～感じること、表すこと～」が決定しています。内容としても、昨年度の実践を継続していく形で、現在、協議を進めているところです。

昨年度まで、異校種や美術館との連携について研修や実践の機会を設けてきましたが、さらに、子どもの発達段階や成長を見通しながら造形美術教育のあり方を考え、中学校での美術の授業の方向性を探ることができれば良いと考えています。

【学習指導要領の目標を踏まえた授業の工夫について】

本研究会では、昨年度、全国造形教育研究大会、2ブロック都中美兼大会のプレ大会として、調査研究部が中心となって夏季研修会を8月1・2日に開催いたしました。各地区から先進的な実践を集め、多くの参加した先生方から高い評価をいただきました。

現在、各地区・各学校では、学習指導要領に基づいた指導方法の研究や評価規準の見直しが進められていると思いますが、墨田区立両国中学校を会場として、7月28・29日の2日間にわたり「成長と連携」をキーワードに、美術教育の今日的課題の解決や教材開発、評価に向けた研修を行なっていきたいと思います。また、東京都の教育研究普及事業にも積極的に取り組み、会員の資質向上と、これからの新しい美術教育を東京から全国に発信していくことを大きな目標にしていきます。

【都中美会員の連携強化のための情報提供と授業実践の紹介について】

学校規模の縮小と共に美術科教員数が減る一方で、若手教員が徐々に増えてきていることから、教員間の横のつながりを大切にしたいと考えます。そのため、都中美名簿の活用とホームページによる広報活動を推進します。ホームページも、さらに、活用しやすい内容を考え、より多くの会員の方からの教育実践等を収集し、情報発信していきます。そして、研究団体として活発な広報活動を目指します。

平成26年度 東京都中学校美術教育研究会活動計画（案）

月 日	注 動 内 容	内 容
4月20日	都中美	（墨田・両国中）
5月19日	都中美 教科研究部会 26年度予定について	（武蔵野・第六中）
5月23日	総会・研修会 25年度活動報告・決算報告、26年度活動方針・組織・予算計画 研修会 講師 木下 晋(きのした すずむ) 氏 (東京芸術劇場)	（中野・中野二中）
5月29日	第32回都中美3ブロック大会実行委員全体会	（中野・中野二中）
6月5日	東京都造形教育協議会理事会 26年度活動、校種間連携 担当理事・役員参加	（新宿・戸塚二小）
6月	第32回都中美3ブロック大会・研究授業担当者会議	（ 未定 ）
6月28日	関東甲信越静地区都県代表者会議・近隣県との情報交換	（墨田・両国中）
7月下旬	第32回都中美3ブロック大会実行委員会・局部会	（ 未定 ）
7月28日 ～29日	都中美夏季研修会 研修テーマ(仮題)・・・「授業の質の向上と美術教育の価値を伝える」	（墨田・両国中）
8月下旬	第32回都中美3ブロック大会・研究授業担当者会議	（ 未定 ）
9月中旬	第32回都中美3ブロック大会・準備会議	（中野・中野二中）
10月 日	都中美 会長・副会長研修会	（墨田・両国中）
10月30～ 31日	第67回 全国造形教育研究大会 第54回 関東甲信越静地区造形教育研究大会 第37回 山梨県造形教育連合&山梨県造形教育研究会 合同研究大会 造形100年教育 ～私を俯瞰して見えるもの～	（山梨県甲府市）
11月28日	第32回東京都中学校美術教育研究会第3ブロック大会	（中野・中野二中）
12月下旬	都中美報告書作成会	（ 未定 ）
12月下旬	都中美副会長・役員会	（ 未定 ）
2月8日 ～14日	公立学校美術展（都展） 7日搬入 8～14日会期 14日午後搬出・片付け	（東京都美術館）
2月 中旬	都中美大会運営委員会反省会	（中野・中野二中）
3月 下旬	都中美 事務局・専門部部長研修会 教科研修 26年度活動方針・組織の検討	（ 未定 ）
3月26日	会長・副会長会（27年度の計画確認）	（墨田・両国中）

平成26年度 予算案

収入の部

科 目	収 入 額 (円)	備 考
会 費	775,000	都中教研分担金
補 助 金	0	
寄 付 金	0	
雑 収 入	0	
前年度繰越金	4,529	25年度繰越金
その他 繰金	0	
合 計	779,529	

25年度の分担金は、前年度より減額されたため、25年度の分担金額で予算編成を行っています。

支出の部

科 目	(経費の区分)	支 出 額 (円)	備 考	
補助事業に要する経費	研究大会及び研修会	諸 謝 金	50,000	研修会講師謝礼
		旅 費	0	
		借 料・損 料	21,200	26年度芸術劇場予約金
		印 刷 製 本 費	300,000	大会紀要印刷
		会 議 費	10,000	会場使用料・機材借用料
		消 耗 品 費	30,000	事務用紙・封筒・インデックス等
		通 信 運 搬 費	16,000	資料発送費
		小 計	427,200	
	研究調査	諸 謝 金	0	
		旅 費	100,000	山梨県実践研究会取材費
		資 料 費	40,000	関東ブロック大会資料代
		印 刷 製 本 費	0	
		賃 金	0	
		会 議 費	5,000	研究調査負担金
		消 耗 品 費	12,000	事務用品費
通 信 運 搬 費		5,000	ネットサービス費	
小 計	162,000			
用研 書 図 究	図 書 購 入 費	0		
	小 計	0		
研究 刊 行 成 果	印 刷 製 本 費	0		
	通 信 運 搬 費	10,000	刊行物運送費	
	小 計	10,000		
計		599,200		
その他事業費・事務局費		180,329	名簿作成・諸団体加盟費	
合 計		779,529		

東京都中学校美術教育研究大会の運営について

1. 東京都中学校美術教育研究大会（以下、研究大会と称する。）は、東京都の中学校における美術教育の充実・発展と美術科教員の指導力の向上を目指して、東京都中学校美術教育研究会が主催し、毎年、実施するものとする。
2. 研究大会の実施にあたっては、東京都の全区市町村を別表に定める11の研究ブロックに分け、ブロックごとの輪番で開催することにより、全都の美術教育の水準の維持と向上を図るようにする。
3. 研究大会の開催ブロックは、原則として1ブロックごととし、3間で区部2ブロックに対して市町村部1ブロックの割合で輪番開催を原則とする。
4. 研究大会の実施にあたっては、東京都中学校美術教育研究会会長の依頼により、開催ブロック内の区市町村の協議に基づき実行委員会を組織し、推進することとする。
5. 実行委員会には、原則として、実行委員長、副実行委員長および事務局、研究局、編集局、庶務局を置き、それぞれの局には局長を置いて研究大会を運営する。
6. 実行委員会は、東京都中学校美術教育研究会と連携を図りながら、実行委員長、副実行委員長ならびに事務局長を中心として、研究大会の準備から報告に至るまでの一切を運営、維持する。
7. 研究大会の実施にかかる費用については、東京都中学校美術教育研究会から支出される負担金のほか、開催ブロックの区市町村教育委員会の協力のもと、1校あたり1万円の分担金の拠出を得て運営するものとする。
8. 上記、大会の運営にかかる費用については、研究大会実施後、大会報告書とともに、開催区市町村の教育委員会教育長に報告するものとする。

都中美 研究ブロック区分

第1ブロック	千代田（2校）・港（10校）・品川（15校） 大田（28校）	計55校
第2ブロック	新宿（11校）・目黒（10校）・世田谷（29校） 渋谷（8校）	計58校
第3ブロック	中野（11校）・杉並（23校）・練馬（34校）	計68校
第4ブロック	文京（10校）・豊島（8校）・北（12校） 板橋（23校）	計53校
第5ブロック	中央（4校）・台東（7校）・荒川（10校） 足立（37校）	計58校
第6ブロック	墨田（11校）・江東（23校）・葛飾（24校） 江戸川（33校）	計91校
第7ブロック	八王子（38校）・町田（20校）・日野（8校） 多摩（9校）・稲城（6校）	計81校
第8ブロック	武蔵野（6校）・三鷹（7校）・府中（11校） 調布（8校）・狛江（4校）	計36校
第9ブロック	立川（9校）・昭島（6校）・小金井（5校）・小平（8校） 国分寺（5校）・国立（3校）	計36校
第10 ブロック	東村山（7校）・西東京（9校）・清瀬（5校）・東久留米（7校） 武蔵村山（5校）・東大和（5校）	計38校
第11 ブロック	青梅（11校）・福生（3校）・あきる野（6校） 羽村（3校）・西多摩（7校）	計30校
島 嶼	大島（3校）・利島・新島・式根島・神津・三宅・御蔵島 ・大賀郷・富士・三原・青ヶ島・小笠原・母島	計15校

25年度 全619校

都中美大会 一覧表

S58/11/18	第1回 品川区 品川総合教育会館	感動をもって創り出す力を高める美術教育
S59/11/20	第2回 府中市 府中市立教育センター	未来を拓く人づくりを目指す美術教育
S60/11/27-28	第3回 豊島区 豊島区立千川中学校 関プロ大会と合同大会	素材と創造者たち
S61/10/9	第4回 中野区 中野区立第七中学校	創造意欲をおこさせ表現力をたかめる授業の進め方
S62/10/9	第5回 立川市 立川市立第九中学校	崩壊か、低迷か、創造か
S63/11/25	第6回 新宿区 新宿区立西戸山中学校 新宿区立早稲田小学校 都図研と合同大会	想像の大地をめざして ～伸びる・ふれあう・美術の根～
H1/10/20	第7回 北区 北区立神谷中学校	やる気見つけた！ ～みずからの生き方につながる造形活動をめざして
H2/11/22	第8回 新宿区 神楽坂エミール	感動が人を創る ～自らをたがやす生徒の育成をめざす美術教育～
H3/10/22	第9回 第5ブロック 荒川大会 荒川区立南千住第二中学校	創るよろこび、生きるよろこび ～今なぜ美術教育か～
H4/10/20	第10回 第6ブロック 江戸川大会 江戸川区立小松川第二中学校	感性が輝くとき ～今、創造の意味を考える～
H5/11/18	第11回 第7ブロック 八王子大会 八王子市立浅川中学校	主体的表現と個性の輝きをもとめて ～心の教育と21世紀へ向けての美術教育～
H6/10/4	第12回 本部大会 東京国立近代美術館・神楽坂エミール	新たな美術教育の展開を求めて ～美術館との連帯と鑑賞教育の可能性～
H7/11/14	第13回 第8・9・10ブロック 北多摩大会 武蔵野市立第六中学校	きらめく感性 あふれる創造 ～子どもが伸びる授業づくりをめざして～
H8/10/4	第14回 第1ブロック 大田区全造連・関プロ合同大会 大田区民センター	美術と環境一心の軌跡
H10/1/22	第15回 第2ブロック 世田谷大会 世田谷美術館	根幹と広がり ～美術を好きになるにはー立体表現を通して～
H11/1/28	第16回 第3ブロック 練馬大会 練馬区立豊玉第二中学校	現在、美術は増殖する ～学校から地域へ生涯へ～
H11/11/19	第17回 第11ブロック 西多摩大会 西多摩郡日之出町立大久野中学校	地域からの発想 ～自然・伝統・生活を見つめて～
H12/11/16	第18回 第4ブロック 板橋大会 板橋区立加賀中学校	美術の時間は発見ワールド ～21世紀の美術は感性を呼び覚ます～
H13/11/22	第19回 第5ブロック 足立大会 足立区立第十四中学校・西新井ギャラクシティ	豊かな感性が21世紀を創る ～人権・共生・環境教育の原点としての美術～
H14/11/21	第20回 第6ブロック 墨田大会 墨田区立墨田中学校	美術、生命の泉 ～湧き出す想像、広がる創造～
H15/11/28	第21回 第7ブロック 八王子市全造連・関プロ合同大会 八王子市立長房中学校	創ることは生きること ～人間・さらなる成長をめざして～
H16/11/5	第22回 第1ブロック 品川大会 品川区立富士見台中学校	観る 鑑る 未来る ～転換期における美術教育～
H17/11/18	第23回 第2ブロック 新宿大会 新宿区立落合第二中学校	創造は生徒を変える
H18/11/17	第24回 第3ブロック大会 中野大会 中野区立中野富士見中学校	みんなの美術 ～感動と創造は未来を拓く～
H19/11/08-09	第25回 第4ブロック大会(関東プロ合同) 文京区立茗台中学校	つくる喜び みる喜び ー未来を心豊かに生きるためにー
H21/01/16	第26回 府中大会 府中市立浅間中学校・府中美術館	人間力をはぐくむ美術教育～いま、求められる創造性 ～豊かな「かかわり」を生み出す美術の授業
H21/11/13	第27回 葛飾大会 葛飾区立上平井中学校	「メッセージ」 ～色・形・ことば からの発信～
H22/11/9	第28回 荒川大会 荒川区立第三中学校	「イメージを形に」 ～鉛筆デッサンから自己表現まで～
H24/1/13	第29回 町田大会 町田市立第二中学校 町田市立国際版画美術館	「自分らしさを創る美術教育」 ー生涯にわたり美術を楽しむ感性と能力ー
H24/11/16	第30回 品川大会 品川区立富士見台中学校	「美術教育の今」 ～造形活動の資質・能力を考える～
H25/11/29	第31回 第2ブロック大会 墨田区立両国中学校	「造形美術教育のダイナミズム」 ～成長と連携～